

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	いずみ園			
○保護者評価実施期間	2025年 11月 13日		～	2025年 11月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12人((回答者数)	10人
○従業者評価実施期間	2025年11月13日		～	2025年11月25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数)	6人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月20日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・季節や発達に合わせた活動や色々な遊び場の開拓をしていただき楽しく過ごしている。	・季節の遊びを大切にしながら、一人ひとりの発達段階に合わせた活動を行っている。集団での活動や個別での活動を通して、子どもたちが「楽しかった」手ごたえを感じられるように意識して保育・療育を行っている。	・生活体験での学びを大切にしながら、人を信頼する気持ち、人を大切にする思い、その子の生きる力を大切に育てていきたい。
2	・保護者同士の交流の場を持ったり、保護者学習会を定期的に行ったりしている。個別懇談では兄弟・家族のことも含め保護者の思いに耳を傾けている。	・単独保育では学期ごとに保育懇談会を行い、わが子の成長だけではなく他の家庭の子どもたちの成長発達も実感できる場を設けている。また運動会やもちつき会等家族で参加可能な行事を年間通して行っている。	・職員間で学び合ったり、各関係機関で開催されている学習会や研修会に参加し自己研鑽していく。
3	・子どもが毎日楽しそうに通っている。	・乳幼児期は人生の基盤を築く時期と捉え、色々な体験を友だちとの関わりの中で体験して積み重ねていく。	・子どもからの“〇〇したい”声をひろい保育に活かしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・利用時間が9:30～15:30の6時間なので就労や家庭での保育が大変な保護者の方には利用しにくい。	・今年度より15:30～16:00の間を延長保育に位置づけ、保護者の就労や保護者の負担軽減を目的として行ってきた。子どもたちには手作りおやつを提供し、子どもの不安な思いにも寄り添う支援を拡充させた。	・夕方の時間は延長保育で対応できているが17時まで延長保育をという声や、朝の開設時間を就学に向けて9時からにして欲しいという要望も出ている。職員間で検討していく。
2	・園庭が狭い	・戸外遊びで気分転換したり、身近な生き物や草花は素晴らしい教材だと捉えている。現実的には土地と資金の問題もある。	・近所を散歩して近所の方とあいさつしたり近くの数か所の公園に出かけたりして、丈夫な身体作りにも励んでいる。活動をにグループに分けて環境設定を行っていく。
3	・防犯対策について。(クマの出没)	・甲府市や県内でもクマの出没が相次ぐ。	・甲府市の目撃情報を掲示して保護者に知らせたり、職員も周知して危険な時は外出しない様にした。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 いずみ園

公表日 2026年2月5日

II

利用児童数 10名(9家庭)

回収数 9名

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	7	1	0	1		2つにグループ分けしたり仕切りの扉を開いて広く使える工夫をしています。戸外にも出かけ広々とした空間で子どもたちの要求に答えています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	8	1	0	0		子どもの思いを大切に丁寧な関わりを行うため2対1で保育士を配置しています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9	0	0	0		遊び・食事・午睡等の部屋を替えてすごやすくしています。園での生活に慣れて自分の思い・意思で生き生きと安全に過ごすことを大切にしています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	9	0	0	0		毎日の掃除、おもちゃの消毒をはじめ園庭・砂場の消毒、環境整備（大掃除）を実施しています。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	8	1	0	0		毎日の朝会では個々の子どもの様子を出し合い保育や支援計画に反映しています。保護者と引継ぎや懇談も行います。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	8	0	0	1		支援プログラムは保育室に提示しています。確認してください。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	9	0	0	0		年2回の個別懇談では支援計画に沿った見直しを行い保護者・保育士の願いや思いをすり合わせて計画をたてています。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	8	0	0	1		ガイドライン・支援プログラムに沿って設定しています。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	9	0	0	0		個々の子どもの思いや、保護者の思いや願いも大切にしています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	9	0	0	0		同じ活動でも繰り返し取り組むことも大切にしています。繰り返すことで認識できたり別の遊び方を発見できたりして自ら学ぶ姿は職員の学びにもなります。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	9	0	0	0		近くの保育園との交流を毎年行っています。いくつかの行事に家族で参加して頂き、他のきょうだいの交流の場にもなっています。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	9	0	0	0		入園の契約時に「重要事項説明書」を示し具体的な例も挙げてわかりやすい様に工夫していますが質問等後日でもよいので出してください。支援プログラムも示しながら支援内容についても説明します。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	9	0	0	0		個別の支援内容についてもわかりやすく納得して頂けるよう工夫をします。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	1	0	1		参加出来ないことも多いかもしれませんが、早めに都合をつけて研修などにも参加したいです。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	8	0	0	1		・お迎えの引継ぎが丁寧で活動中の様子が良く伝わります。 ・何を持って正しいとするかは私もわかりませんが子どもの異常な行動はもうこしフォーカスして伝えてほしいです。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9	0	0	0		年間を通して個別の懇談や保育参観を受け付けています。保育参観には半数以上の方が参加してくれました。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9	0	0	0		親にも寄り添ってくださり、いつもたくさん助けられています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	0	0	0		・なかなか交流の機会に参加できないこともありませんが茶話会などで他の家庭の話聞いたり学びになっています。 ・役員さんの準備も大変ですし茶話会はお茶（のみ物）だけでも十分だと感じています。 ・見守れるような関わりを築きたいと思っています。保護者会の活動にも取り組んでいます。
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9	0	0	0		今後も保育体制を整え、迅速に対応していきます。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	8	0	0	1	何を持って正しいとするかは私もわかりませんが子どもの異常な行動はもう少しフォーカスして伝えてほしいです。	個々の子どもの言葉にできない思いも尊重して関わっています。心配事、大変と感じる事も伝え合い共有していきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	9	0	0	0		園だより「大きくなあれ」を毎月発行して活動の状況や予定等をお知らせしています。自己評価も園内掲示とHPで公表しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9	0	0	0		今後も十分に気を付けていきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	0	0	0	来年は訓練に参加できるようにしたいです。	今後は訓練等も実施していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9	0	0	0	同上	火災・地震・水害訓練を年2回実施。外部に依頼して消火・通報訓練、救命救急の訓練を実施しました。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8	1	0	0	全国的にクマが出没して危ない状況なので具体的なマニュアルを1度（園の近くに出た時、出くわしてしまった時の大人の対応など）うかがいたい。	昨年の秋は全国的にクマの出没が多発し犠牲者も出てしまいました。甲府市の目撃情報などを保護者の皆さんにお伝えしたり職員も周知して危険な時は外に出かけないようにしました。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9	0	0	0	ささいなケガも報告してもらって丁寧で有り難いです。	契約時に説明をしている。緊急時は対応マニュアルに沿いつつ対応します。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	9	0	0	0	はなまるを1ヶいただきました。楽しそうです！本当にありがとうございます。	子どもが楽しみに利用でき、保護者も安心して預けられることを大切にしています。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	9	0	0	0	同上	友だちと一緒に過ごすことは子どもにとって心も体も豊に成長発達できる環境です。人と関わり、遊ぶ楽しさを全身で感じて内面も成長してほしいと願っています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	9	0	0	0		気づいたことは日頃から伝えていただき、より良い環境に努めます。安心して楽しく過ごせる居場所になれるようにこれからも努めていきます。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		いずみ園		公表日		2026年2月4日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	定員10名に対して、2Gに分けるなどして部屋を使い分けている。プレイルーム・食事・午睡室を時には広くしたりして工夫している。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	子どもに丁寧に寄り添いながら子どもが主人公になれる職員配置。朝の打ち合わせ時にその日の利用人数や出勤日人数、欠席人数を必ず確認している。	職員の休憩時の工夫をしていく。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	昨年おもちゃ収納棚を設置。子ども自ら玩具を取り出したり分別して片づけたりして遊びがさらにスムーズに楽しめるようになった。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	掃除、おもちゃ消毒は毎日行い心地良い空間になっている。雑巾がけも子どもたちと一緒に年間を通して行い身体づくりや心地良い空間を意識する。	日頃の後片付けを職員と一緒に取り組み心地良さを感じ生活習慣として身に付ける。年間を通して近隣の公園を利用しているがゴミ・汚れがひどい。市に通報もしたが改善されていない。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	いつもと違う人の多さや友だちの鳴き声が苦手な子は午睡用の部屋を解放している。友だちが泣いている理由を伝えたり、事前に大勢集まる事を知らせたりして少しでも気持ちが軽くできるようにしている。	行事は保護者や家族も参加して頂き人数が多くなるので今後も感染症対策のみならず2部制にしていく。雨天時も考慮して公共の施設を利用したいが。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0	会議を行ったり支援計画をいつでも確認できるようにしている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	保護者からの意見等は送迎時に直接聞いたり連絡帳や懇談時など気がついた時に伝えていただけるよう工夫している。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	月1回の保育内容会議で意見を把握する機会となっている。	改善したことが継続するよう1人1人が意識して取り組む。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1		第三者評価については検討中。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	発達診断セミナーや全障研大会への参加など研修させてもらえて学びになっている。研修会や学習会には積極的に参加している。	2025年10月1日の合併後、研修や委員会も多く出かける回数も多くなっている。今後の参加の仕方を検討していく。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0		HPや園内に提示しているが意見も頂けるように丁寧に伝えていく。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。		0	計画は前期・後期に分け、その都度、個別懇談を行い見直し等を行い職員間で共有している。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		0	こども1人ひとりに担当の職員を配置して支援計画をたてている。子どもの思いを最優先している。	“子どもはどう思っているか、望んでいるか”を大切にしていきたい。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	日頃、保育担当につく時、支援内容を意識して関わる様になっている。朝会で個々の子どもについて支援方法などを意見交換している。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		子どもの標準的な成長発達をふまえた上で日々の保育療育を通して見える姿や家庭での様子を聞き取り確認している。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	いずみ園の支援計画にはすべて項目が設定されています。その中で個々の発達段階や思い、保護者の思いなどをふまえて計画しています。	これからも乳幼児期に大切な人との関わりや色々な体験などを積み重ねていきたい。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	毎月、全保育者が参加する保育内容会議で活動プログラムの立案を行い週の担当者が中心になり週案をたてる。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	子どもたちからの発信、姿を大切に繋がりを大切に工夫。新しい取り組みも積極的に取り入れている。		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	個別での活動は食事、排泄、生活リズムなど基本になるところを中心に支援。リハビリに通っている子ども個別に支援を受けている。集団活動は制作、見立てつもり遊び、ごっこ遊び、戸外遊び等で取り組んでいる。	保護者との連携を大切にしている。日々の引継ぎや懇談を行う中で保護者と対面して話すことをこれからも続けていく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	朝会でその週のリーダーが支援内容や役割分担を伝え確認している。	限られた時間の中で行い、受け入れの準備も行う。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		終了後の打ち合わせがやりきれないので翌日の朝会に行っている。朝の打ち合わせ時、昨日の出来事を共有する時間を作っている。	保育終了後は記録や他の打ち合わせ等もある中で気づいたことは声にして共有している。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	毎日個々の担当職員が記録を行ない、課題や確認事項は毎朝の朝会で伝えて意見を出し合っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	半年に1回は行うが必要に応じて懇談をしている。	支援計画以外でも個別の懇談はいつでも声をかけて下さい。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	児発官もしくは児の担当職員が参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	就学時の学校見学に同行、引き継ぎも行っている。並行通園先との連携の他、子どもを中心に関係機関との連携をしている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0		子どもの思いや療育の大切さを共有する。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	就学児、並行通園児を中心に見学や懇談等に積極的に取り組んでいる。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	0	同法人のセンターとの連携。	地域のセンターとの連携。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6	0	運動会、夏祭り、もちつき会の行事は家族参加で交流を図っている。地域の保育園との交流を定期的に行っている。	公園や散歩、買い物など地域へは積極的に出かけているが子どもと出会うことは少ない。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	毎日の送迎時や個別の懇談等で状況や課題などを共有している。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	1	毎週木曜日に親子保育を実施。保育参観は父も参加してくれる。茶話会を年数回開催。お母さんたちの交流の場になってい	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	運営規定・利用者負担等について入園時に重要事項説明として説明している。	より細やかで丁寧な対応を目指す。	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	個別懇談を開き保護者の思いや子どもの様子などを伝え合い確認している。		
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6				

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	学期ごとの懇談会では集団で行い、個別の懇談も行っている。	園児1人に対し保護者と月に1回以上の懇談を目指す。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	0	きょうだいの交流は年3回の行事には家族参加でお誘いしている。 保護者役員を中心に茶話会やバザー等を行っている。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	保育体制を整え対応している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	0	月1会の園だよりで伝えている。 必要に応じて掲示したり口頭で確認をしている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	定期的に確認しています。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	子どもが分かりやすい言葉かけや納得できるように工夫している。大人の思いだけを伝えるのではなく子ども自身が考えたり感じたりできるよう“間”を大切にしている。	それでも納得できない事もあるので大人が折り合い次に生かす。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	0	焼き芋会やもちつき会のおすそ分けをしたりしている。 近所を散歩する時は挨拶や声をかけている。	
	非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	契約時に説明。火災・地震を想定した避難・引き渡し訓練を年2回実施。職員で消火・通報訓練を行っている。
46		業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0		訓練の実施
47		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	0	年度初め・途中入園時に確認。 服薬については日中必要な時は「与薬表」に記入。間違いの無いよう2人以上で確認。	
48		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	医師の指示に基づく対応をしています。	
49		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	年度初めに職員間で確認。 点検表で2週に1回と月1回の点検を行い職員間で確認。	
50		子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	園内掲示を行ったり年度の初めに伝える。 途中入園時にも伝えている。	
51		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	朝会で共有してヒヤリハット簿に記載。帰りの引継ぎで保護者にも伝えている。	
52		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	保育に行き詰まった時は助けを求めよう職員間で確認している。逆に声をかける。虐待に関しての学習会を開催している。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0	懇談時に危険予知が苦手等を保護者と確認して個別支援計画に記載。 室内のカギについても必要以上にかかけすぎないことを確認して子どもの自由な活動を保障している。		